

2018年8月6～10日 福岡市立こども病院 CMR 研修 感想

あいち小児保健医療総合センター 循環器科 鬼頭 真知子

歴史的酷暑だった2018年8月、福岡市立こども病院で1週間（5日間）のCMR研修をさせていただきました。

私の所属施設ではこれまでCMR検査をほとんど施行しておらず、ようやく検査を立ち上げる準備をしています。私自身は前職で小児CMRを学ぶ時間をいただいたことがありましたが、立ち上げにあたり知識の再確認、アップデートのために研修の機会をいただきました。CHD患者のflow/volume解析が今回の研修の大半を占めました。初日に解析ソフトの扱い方を一通り教わってから、既に撮像されている検査の解析を行い、その結果を石川友一先生に添削していただく作業を反復しました。ROIや心筋のトレースのコツ、解析から得られたデータの意味、血行動態の考え方など、石川先生がおっしゃる（つぶやかれる）お言葉一語一句から、多くを勉強させていただきました。

また実際の撮像も見学させていただき、検査の流れや造影方法などについても学ぶことができました。夏休みシーズンということもありましたが、毎日4-5件/日のペースで検査が行われていることに、驚きを隠せませんでした。

研修中の2日間は当院から放射線技師も見学に伺い、技師の視点からもノウハウを学ばせていただきました。

研修期間中、「1週間CMRに集中できた」ことはとても有意義でした。また、期間中「石川先生の言葉をシャワーのように浴びることができた」ことが、この上ない贅沢な時間になりました。

集中した研修期間をいただくことは、受け入れ先、送り出し元の双方の協力なくしては成立しません。快く研修をお受けいただきました石川友一先生はじめ、福岡こどもの先生方に、そして1週間もの留守をお許しくくださったあいち小児の先生方に、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。